

ヒト由来グアニル酸キナーゼ、組換え型

Cat. No. NATE-1637

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 酵素学において、グアニル酸キナーゼ (EC 2.7.4.8) は、化学反応を触媒する酵素です: $ATP + GMP \rightleftharpoons ADP + GDP$ 。したがって、この酵素の二つの基質はATPとGMPであり、その二つの生成物はADPとGDPです。この酵素は転移酵素のファミリーに属し、特にリンを含む基を転送する酵素 (リン酸転移酵素) であり、受容体としてリン酸基を持ちます。この酵素はプリン代謝に関与しています。

別名 デオキシグアニル酸キナーゼ; 5'-GMPキナーゼ; GMPキナーゼ; グアノシンーリン酸キナーゼ; ATP:GMPホスホトランスフェラーゼ; GMK

製品情報

種	人間
由来	E. coli
形態	液体
製剤化	5 mg/mlの50 mM酢酸ナトリウム、100 mM NaCl、5 mM DTT、5 mM EDTA、pH 5.0、10%グリセロールを含む。
EC番号	EC 2.7.4.8
分子量	23.9 kDa
純度	> SDS-PAGEによる90%
活性	>100 ユニット/mg
単位定義	1.0μモルのGMPとATPをGDPとADPに交換する酵素の量として定義され、pH 7.5、37°CでPK/LDHと結合したシステムで1分あたりの量です。

保管・発送情報

保存方法 -20°Cで